

チベット問題の早期、平和的解決を望む声明文

私たち仏教徒は、「いのちあるものを殺さない」という教え（不殺生戒）を終始一貫して唱え、実践されてこられたチベット仏教最高指導者、ダライ・ラマ法王を支持いたします。

そして今、ラサを中心とするチベット自治区、及び周辺地域に置ける騒乱の現況を深刻に憂慮し、チベットの人々の人命と人権が守られ、自由と自治が補償されるよう、当事者相互の対話による平和的解決がなされることを、強く望みます。

日本国政府、並びに自由と平和を希求する各国政府が一致協力され、平和的解決へ 向けて尽力されるよう願いたします。

合 掌

平成二十年四月二十五日

尾道仏教会